

国際政治

44

戦後東欧の政治と経済

日本国際政治学会編

ソ連の対東欧政策 ——介入規定要因の研究——	木村 汎
東欧社会主義諸国における経済改革の諸問題	長砂 實
オーデル・ナイセ問題 ——ドイツ東方領土をめぐる若干の考察——	深谷 満雄
ルーマニアにおける内政と外交 ——外交政策と国民主権の重量——	木戸 蒨
後進性からの脱却 ——ブルガリア——	岩林 彪
カダール政権の成立と秩序形成過程	松井 弘明
ワルシャワ条約機構の成立と発展 ——ソ連の戦後軍事戦略の変遷との関連で——	佐藤 栄一
<hr/>	
転換期中国の少数民族政策	坂本 是忠
国際圧力団体	中原 喜一郎

<書評>

辻村明編『現代ソヴェト社会論——社会学的分析——』	木村 明生
ハンス・J・モーゲンソー著『アメリカの新しい外交政策』	日比野 正明
ルネ・レヴェスク著『ケベックの選択』	伊藤 勝美

1971年刊